

か

地 理 B 問 題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は 11 ページまである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. これは、地理Bの問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認のうえ、解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合し確認すること。
5. 解答はすべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆又はシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しきずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ちかえらないこと。
11. この問題用紙は必ず持ちかえること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例

[I] 次の文章を読んで、以下の間に答えよ。

首都コペンハーゲンのある 1 をはじめ約 500 の島々と 2 からなるデンマークは、東に 3 海、西に北海を臨み、日本の九州ほどの面積に約 557 万人(2011 年)の人々が暮らしている。酪農を中心とした農業が発達し、医療機器など小型精密機械工業もさかんである。

日本の合計特殊出生率が低下傾向のままであるのに対し、デンマークでは異なる。すなわち、1970 年代半ばから著しく低下した後 1980 年代前半に 1.4 を下回ったが、その後再び上昇し、1990 年代半ばに 4 となり、その後はほぼ横ばい状態にある。世界トップクラスの税負担を基礎として、育児休業、保育施設、労働時間の短さなど出産、育児支援の整備が進められたことが大きな要因とされ、医療、教育は基本的に税金で賄われ無償である。こうした高福祉、高負担を実現できたのは、国民の、教育、介護、年金、医療等の資金を政府に預けているという認識が社会を支える基盤となっているからである。

また、環境政策でも先進的な取り組みが見られ、風力発電など再生可能エネルギーの採用が進められてきた。風力発電は、総発電量の約 5 割(2008 年)を占める。

EC 加盟は 1973 年であるが、1992 年、当時の EU 憲法にあたる 6 条約批准に関する国民投票では反対多数となり、⁽¹⁾ デンマーク・ショックと呼ばれた。修正のうえ、翌年の国民投票では賛成多数となり批准された。しかし、2000 年の共同通貨ユーロ参加に関する国民投票は反対多数で否決されている。

問 1 1 に最も適切なものを以下の選択肢から 1 つ選んでマークせよ。

- | | |
|----------|---------|
| A ゴトランド島 | B フュン島 |
| C シェラン島 | D ローラン島 |

問 2 2 に最も適切なものを以下の選択肢から 1 つ選んでマークせよ。

- | | |
|-----------|----------|
| A イベリア半島 | B コラ半島 |
| C カテガット半島 | D ユーラン半島 |

問 3 3 に最も適切な名称を解答欄に記入せよ。

問 4 4 に最も適切なものを以下の選択肢から 1 つ選んでマークせよ。

- A 1.6 B 1.8 C 2.0 D 2.2

問 5 5 に最も適切なものを以下の選択肢から 1 つ選んでマークせよ。

- A 1 B 2 C 3 D 4

問 6 6 に最も適切な名称を解答欄に記入せよ。

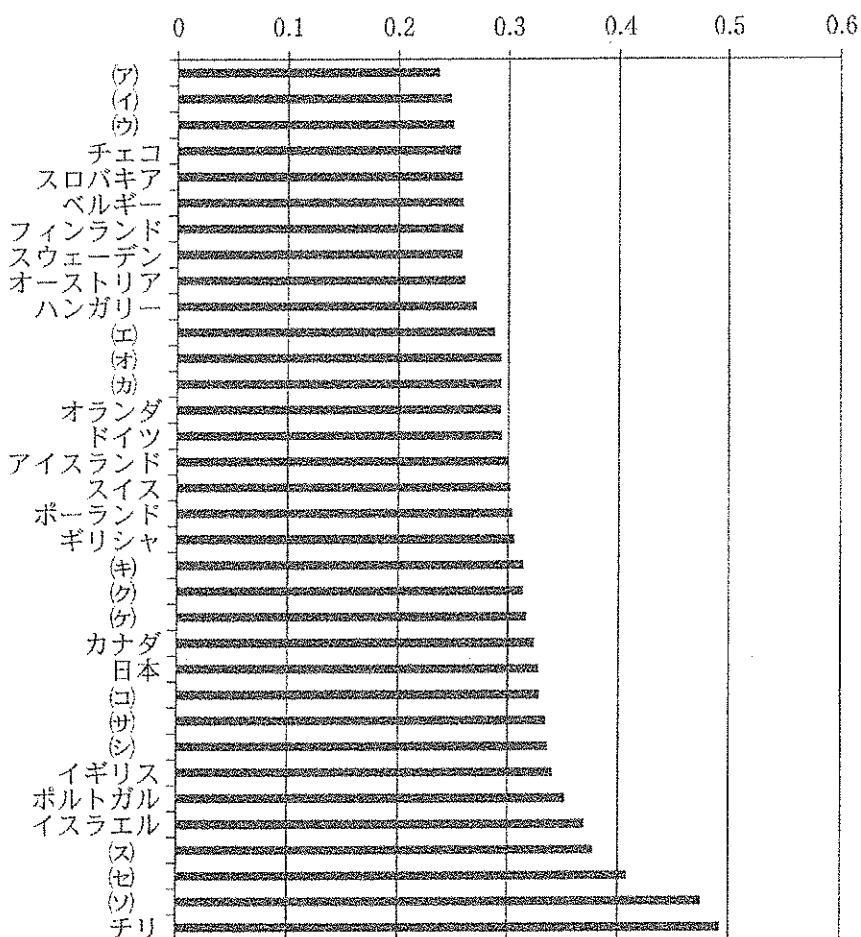
問 7 2012 年末現在、デンマークのように EU 加盟国ではあるがユーロには参加していない国は、以下の北欧諸国の中どの国が当てはまるか。以下の選択肢から 1 つ選んでマークせよ。

- A スウェーデン B ノルウェー
C フィンランド D アイスランド

問 8 下線部(1)の国民投票で反対多数となった理由について、30 字以内で述べよ。

[Ⅱ] 以下の図1はOECD加盟34か国(2012年1月時点)の2000年代後半におけるジニ係数を示したものである。ジニ係数は所得格差の状況をみる指標の一つであり、0から1までの間の数値で表され、その値が0に近いほど所得は平等に、1に近づくほど所得は不平等に分配されていることを意味している。また、図2はOECD加盟34か国2007年における一人あたりGDPを示している。以下の二つの図をもとに設問に答えよ。

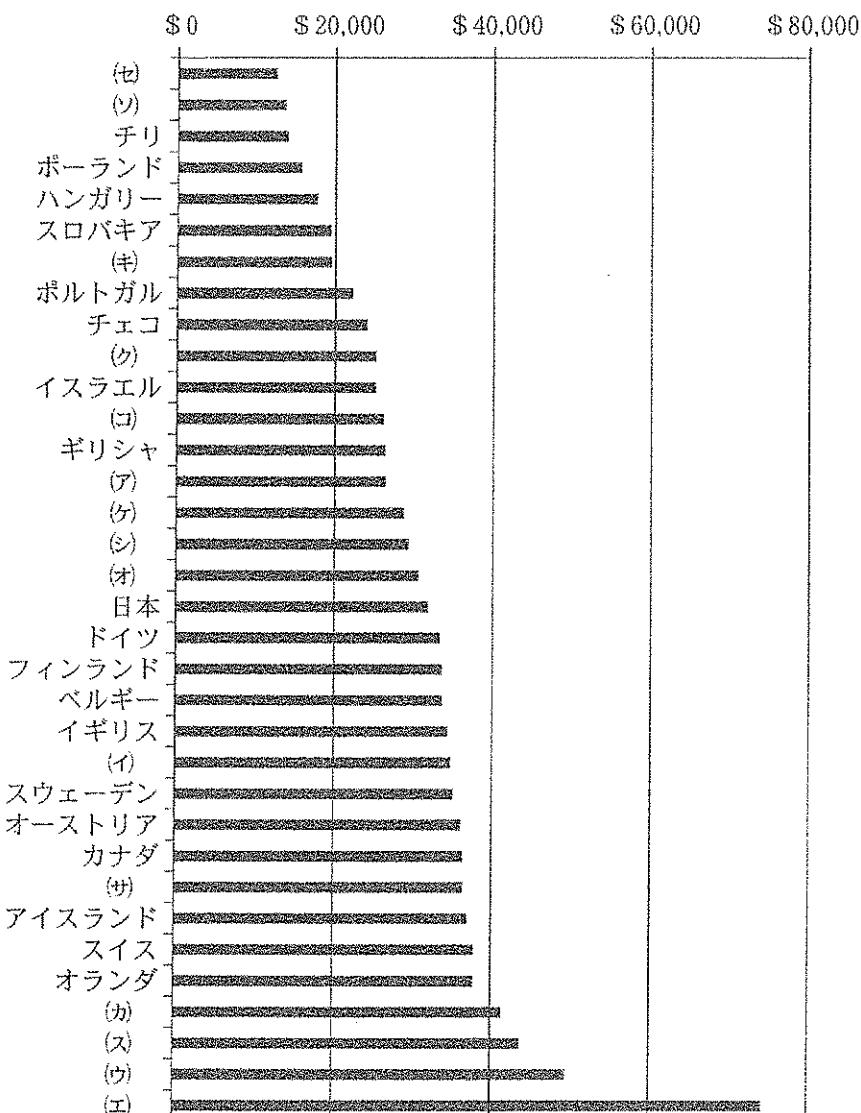
図1 OECD加盟国ジニ係数



(注) 税や社会保障給付等を考慮した後の数値。なお、等価家計可処分所得に基づき計算されており、全人口に関するものである。

出所：OECDホームページより

図2 OECD 加盟国の人一人あたり GDP



(注) 基準年を2005年とした実質値・購買力平価ベース。単位は米ドル。

出所: OECD ホームページより

問 1 図中の(ア)の国は、旧ユーゴスラビアから独立した国の中でも最も工業化が進んでいる国である。この国の名称を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A クロアチア B セルビア
C スロベニア D マケドニア
E ボスニア・ヘルツェゴビナ

問 2 図中の(ウ)の国は、EUに加盟していないヨーロッパの国である。この国は原油・天然ガスを産出することでも有名であるが、この国の油田を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A エコフィスク油田 B チュメニ油田
C フォーティーズ油田 D タンピコ油田
E ブルガル油田

問 3 図中の(エ), (オ), (カ)の国はヨーロッパの国であるが、そのなかに法人税を低く抑えることで外資の積極的導入を行い、2000年代後半の世界的金融危機までは高い経済成長を実現し、歴史的、経済的にもアメリカ合衆国とつながりが深い国がある。この国の首都を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A ベルファスト B レイキャビク C ベルン
D ダブリン E フアドーツ

問 4 図中の(ギ)の国は、通貨として共通通貨ユーロを利用している旧ソ連の国である。この国の首都を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A ピリニュス B ミンスク C リガ
D タリン E イエーテボリ

問 5 図中の(シ)の国は、南部と北部との間で経済格差があることで有名な EU 加盟国である。こうした経済格差を埋めるため、バノーニ計画で南部のある都市に製鉄所が建設されたが、この都市を以下の選択肢から 1つ選んでマークせよ。

- A タラント B トリエステ C ラヴェンナ
D ピヨンビーノ E パルマ

問 6 図中の(セ)の国は、イスラム圏に属しており、ドイツへの労働移民が多いことで知られている。カスピ海沿岸の油田からこの国の中海沿岸のジェイハンまでパイプラインが通じているが、このパイプラインはある国の首都を経由している。この都市を以下の選択肢から 1つ選んでマークせよ。

- A キシナウ B トビリシ C アシガバット
D キエフ E テヘラン

問 7 表中の(イ), (エ), (ス), (ソ)にあてはまる国の中から 1つずつ選んでマークせよ。

- A ルクセンブルク B 中 国 C メキシコ
D アメリカ合衆国 E デンマーク

(III) 以下の(ア)～(オ)の各文は、それぞれ南北アメリカ大陸における「特定の都市」についての記述である。それぞれの問題文を読んだ上で以下の各設問に答えよ。

(ア) スペイン植民地時代にカトリック教区が存在したこの都市は、現在は世界的なIT関連産業の集積地域として有名な 1 地域の一部を構成している。同じ地域内の近傍には、ハイテク産業界と密接に連携してきた著名な私立大学も存在する。

(イ) 当該国の旧首都でもあったこの都市は、有名なカトリックの祝祭などで世界的な観光地としてもよく知られる。住民間の経済的格差は大きく、この都市の都心周辺地域には、現地で 2 と呼ばれる貧困地区が今なお多数存在する。

(ウ) 周辺地域に天然ガスや 3 と呼ばれる豊富なエネルギー資源を有するこの都市は、自らが属する州の州都でもある。それはまた、同州を含めた当該国西部地域における近年の人口成長の中核地域でもある。

(エ) 当初は輸出加工特区として出発し、4 と呼ばれるこの国特有の製造業集積システムを有するこの都市は、その北隣の大國と交わされた戦争の古戦場としても知られている。近年は、経済のグローバル化を背景に製造業関連の様々な外資系企業が多数立地し都市経済の伸長も顕著であるが、麻薬や犯罪などを始めとしたさまざまな社会問題を抱えてもいる。

(オ) 首都である大都市の外港にあたるこの都市には、立法府だけが独立して置かれている。この国の都市システムは、同大陸における多くの主要都市同様、5 が卓越する人口の一極集中傾向を示している。

問1 各文中、空欄1～5に最もよく適合する地域名称ないし地理用語(ただし全てカタカナ表記)をそれぞれ解答欄に記入せよ。

問 2 上記(ア)～(オ)の各文にあたる最も適当な都市名を、下記の語群から選択し、
その記号をそれぞれマークせよ。

語 群

- A サンタバーバラ
- B パルパライソ
- C エドモントン
- D メリダ
- E バンクーバー
- F リオデジャネイロ
- G レシフェ
- H カルガリー
- I サンノゼ
- J サントス
- K モンテレイ

[IV] 気候区と林業に関する、以下の間に答えよ。

問 1 表1は、5つの大陸ごとに、ケッペンの気候区分にあてはまる地域の面積割合を示したものである。表中の(ア)、(ウ)、(エ)にあてはまる大陸を、語群の中から1つずつ選びマークせよ。

表1 大陸別の気候区分の面積割合

(%)

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	オーストラリア
Af	26.9	3.5	19.8	2.8	7.9
Aw	36.5	3.9	18.8	2.4	9.0
BS	6.7	15.9	21.5	10.7	25.8
BW	7.3	10.2	25.2	3.7	31.4
Cw	6.7	9.6	13.1	2.0	6.8
Cs	0.3	2.2	1.3	0.8	7.9
Cf	14.0	5.7	0.3	10.7	11.2
Df	—	25.8	—	43.4	—
Dw	—	13.4	—	—	—
ET	1.6	9.8	—	17.3	—
EF	—	—	—	6.2	—
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

出所：帝国書院編集部編『地理統計 2012年版』

語 群

A ユーラシア

B アフリカ

C 北アメリカ

D 南アメリカ

問 2 伐採が進んだことなどによって、近年、熱帯林が減少してきている。それに対応するために、伐採後に植林をし、木が育つまで農作物を間作する方法が提唱されている。その方法の名称を、以下の選択肢の中から1つ選んでマークせよ。

A アグリツーリズム

B アグロフォレストリー

C アグリビジネス

D 三圃式農業

問 3 ケッペンの BS 気候区では、1970 年代以降、砂漠化が進行してきている地域も多い。砂漠化は様々な要因で進展するが、その中には塩害による場合がある。塩害は、あることが過剰に行われると発生するが、そのあることとは何か。以下の選択肢の中から 1 つ選んでマークせよ。

- A 放 牧 B 耕 作 C 灌 溉 D 伐 採

問 4 表 2 は、8 つの国について、それぞれの森林面積と木材伐採高を示したものである。表中の(ア)～(エ)にあてはまる国名を、語群の中から 1 つずつ選びマークせよ。

表 2 国別の森林面積と木材伐採高

	森林面積 (千 ha)	対国土面積比 (%)	木材伐採高 (千 m ³)	うち用材 (%)	うち針葉材 (%)
エジプト	69	0.1	17,665	1.5	—
(ア)	2,867	11.8	8,497	88.4	94.5
ギリシャ	3,843	29.1	1,743	54.4	52.5
ベトナム	13,509	40.8	27,850	21.0	1.3
(イ)	20,630	62.4	22,984	87.6	0.7
日本	24,961	66.0	16,711	99.4	83.6
(ウ)	310,134	31.1	107,266	98.0	82.6
(エ)	523,911	61.5	264,149	46.2	22.6

出所：矢野恒太記念会編『世界国勢図会 2011/12 年版』

語 群

- A イギリス B カナダ
C ブラジル D マレーシア

問 5 表2の(工)の国では、ある鉄山からの鉄鉱石による製鉄業が成立しているが、そこでは木炭を使った製鉄が行われている。その鉄山の名称を、以下の選択肢の中から1つ選んでマークせよ。

- A カラジャス
C キャロルレーク

- B メサビ
D イタビラ